

夏もいよいよ！ 上信国境の名山を歩く
根子岳・四阿山

実施日 2013年7月28日(日)
 天候 晴れ
 リーダー 涌井 良明
 参加者 齋恵美子、涌井良明、鈴木政三、小村井好江、石附智江、渋谷京子、瀧沢きよの 計7名
 費用 JR11,960円(東京駅起算・定額時) レンタカー2,600円 牧場入場料200円 計14,760円
 タイム 東京(6:24)上田(7:54~8:15レンタカー)菅平牧場管理事務所(9:00~9:15)休憩(10:15~20)根子岳(11:07~11:15)最低鞍部(11:45~12:05)中尾根分岐手前(12:45~12:55)四阿山(13:15~13:25)牧場事務所(15:40~16:15レンタカー)上田駅17:10~18:21)

上信国境の名山、根子岳・四阿山を夏に登ってみよう計画した。カラッと晴れた夏空とはならなかったが、目論見通り花々や、日本離れした山岳美の眺望などを堪能でき楽しさ目一杯の山歩きになった。

辞退者が相次いだため上田駅からレンタカーで登山口まで往復することにしたが、お蔭で大分経費削減ができた。レンタル＆レンタカーは実に使えるアプローチだったって自画自賛!(^^)!

さて、学生の夏合宿で賑わう菅平の町を抜け、牧場手前でオジサンに1人200円の牧場入場料を払って駐車場へ3面あるが上部2面は既に満車、なので登山口から最も離れたP3に。で、登山口まで100m程歩き(P1は登山口0m、P2は50m、でP3は100mかな?)



高校生の団体をやり過ごして根子岳登山道に入る。直ぐに花が目につくようになる、ウツボグサ、ハクサンフウロ、ハナギランetc.先週の白山にも劣らない花々のオンパレードだ。なのでしばしば撮影で一時停止、ご迷惑さまでした。でもゆっくり歩いて良かった面もあったかも知れませんよね。

急登はなく道は根子岳に向かってほぼ

真っすぐに登る。樹相も高原の白樺からダケカンバに変わるが、ほぼ一定の傾斜の登りが続く。森林限界まで来ると眼下に夏の緑の菅平の眺めも楽しい。ゆっくりと一時停止しながらだったが、2時間弱で根子岳に着く。山頂は昼食中の高校生の大集団に占領されていて、祠での写真撮影を諦めて、四阿山へと向かうことにした。



僅かに下ると例のハイジの世界のような眺望が開けた、日本の山岳美でも有数のものだと思っっているのは私だけでしょうか?

岩の間をすり抜けて、その風景の真只中の鞍部へ下る。下りきって道の脇で昼食にした。良き眺めと沢山のお裾分けをもらい持参の食糧が余るほどだった、しかもどれも旨い、皆さんありがとうございました。

四阿山へはこの先から暫く樹林の急登になっていく。但し、森の道はしっとりひんやりと気持ち良く暑さも控えめで、辛い登りも足元の苔を見たりしながら登る。急登が終わりしばし根子岳眺めを緩やかなった道を3月のスノーシューの時とは様変わりした夏道を辿って四阿山に立った。雪の山頂とは違頂うの味わったが、心写配真を撮る。中尾根分岐から中四阿経由の道を下る。尾迫力くのがれを挟んで対峙する根子岳を眺めながら、こちらも多くの花が目につく道を下る、中四阿から徐々に樹林になり尾根上の小四阿を過ぎれば牧場



大の策に沿って歩き牧場の舗装路から登山口に戻った。下山祝いに牛乳で乾杯!花一杯、腹一杯、夏山歩きの良いとどりの様な山行は幸い雨にも遭わずに完了。上田へのドライブとミニ反省会もついて新幹線で帰京です。皆さんお疲れ様、やっばい山だったね。



(記&写真・涌井 良明)